

会議録

会議の名称	令和3年度第2回加東市総合教育会議
開催日時	令和3年11月16日（火）13時30分から15時20分まで
開催場所	加東市役所2階 201会議室
議長の氏名（市長 安田正義） 出席及び欠席委員の氏名 ＜出席委員＞ ・市長 安田正義 ・教育長 藤本謙造 ・教育長職務代理者 田中寿一 ・教育委員 藤本洋二、藤原哲史、後藤純子 ＜欠席委員＞ なし	
説明のため出席した者の職氏名 なし	
出席した事務局職員の氏名及びその職名 ・教育振興部長 田中孝明 ・こども未来部参事 後藤浩美 ・教育総務課長 菅野勇一 ・生涯学習課長 長田 徹 ・小中一貫教育推進室長 柴崎俊之 ・発達サポートセンター所長 友藤由貴子 ・まちづくり政策部長 小林勝成 ・企画政策課副課長 高田篤 ・企画政策課主事 横山寛之 ・こども未来部長 広西英二 ・こども未来部参事 神田英昭 ・中央図書館長 田中美紀子 ・こども教育課長 井澤彰子 ・学校教育課長 井上 聡 ・教育総務課副課長 徳岡あけみ ・企画政策課長 下岡正裕 ・企画政策課係長 村上計太	
1 議題 (1) 第2期加東市教育大綱における令和4年度の取組内容について…資料1 (2) 東条学園の現況について…資料2 2 会議の結果及び経過 ⇒「令和3年度第2回加東市総合教育会議・会議の結果及び経過」のとおり	

令和3年度第2回加東市総合教育会議・会議の結果及び経過

発言者	会議の結果及び経過 / 発言内容
議長	<p>1 開会</p> <p>2 市長あいさつ</p> <p>3 協議</p> <p>(1) 第2期加東市教育大綱における令和4年度の取組内容について まずは、内容について事務局から説明をお願いします。</p>
議長	<p style="text-align: center;">事務局から資料1に基づき説明</p> <p>ただいまの説明内容を含め、議事にかかる意見はありますでしょうか。</p>
委員	<p>新型コロナウイルス感染症に対する予防体制について、本市では、教育現場におけるオゾンの発生装置や空気清浄機の設置、臨時バスの運行など、感染対策に必要な措置を積極的かつ効果的に実施いただきました。おかげさまで、修学旅行や自然学校などは一律に中止とはならず、子供たちの思い出に残る行事を実施することができました。一方で、新型コロナウイルス感染症だけではなく、O(オー)157やノロウイルス、インフルエンザなどにより、学校、園は常に集団感染の危機にさらされています。自衛することが難しいこども園などに通う小さな子供のことも考えると、オゾンの発生装置などの衛生面における支援のほか、予防的な役割を果たす人材の配置や関連機関との連携など、先を見通した取組が継続して必要だと思いますので、今後ともお願いしたいと思います。</p> <p>また、生涯学習の参加者が減少しているという内容がありましたが、これは新型コロナウイルスの影響だけではなく、学習内容や団体の維持、運営が過渡期を迎えていることも事実であると思います。総合計画の中にも、学習機会の充実とともに学習活動の担い手となる団体、サークルや人材の育成に努めるという項目がありますが、中・長期的に人材を育成していくということを変わず重点として挙げていただきたいと思います。</p> <p>最後に人権教育についてですが、新型コロナウイルス感染症の感染者に対して、その責任を追及するような問題があり、市長自らも、防災無線で再三人権の視点から放送して呼びかけるなどの対応をしていただきました。今回の問題をみんなのものとして捉えて、今後の人権学習につなげていただきたいと思います。</p>
委員	<p>食育に関することですが、先日、小学校の廊下の掲示板で、「アカエイと枝豆の甘辛あえ」という変わった給食のメニューが紹介されているのを見つけました。このアカエイが、兵庫県の漁業協同組合のほうから無償提供していただいた食材であると書かれており、生産者のことを知り、感謝の気持ちを育てることにつながる大切な掲示であると思いながら見せていただきました。</p> <p>コロナ禍の中、給食を楽しい時間として捉えることができない部分も多くありますが、給食には子供たちのたくさんの学びが詰まっていると思いますので、いろんな食材をつかって食育につなげていただきたいと思います。</p>
委員	<p>令和4年度は、特に地域との連携をより深めていただきたいです。通学の安全確保を目的とした見守り活動や、東条地域では既に取り組んでいる学校運営協議会での情報交換などをより進めていく上で、地域との連携が大事になると考えて</p>

委員	<p>います。</p> <p>発達サポートセンター「はぴあ」ができて4、5年が経過しますが、コロナ禍の中、これだけ多くの相談があるということに、それだけ深いニーズがあると改めて気づかされました。これは、「はぴあ」に関係する人たちの取組が着実に成果として積み上がっていることの一つの証であると思っています。今後はコロナ禍での経験を踏まえつつ、積み上げていただいたことを基にしながら、相談の数も質も増やしていくことが大事だと思います。</p> <p>加えて、秋に文化祭を見に行く機会がありましたが、コロナ禍の中、大変な準備をなされて実施に至ったことは、何年も積み重ねてきた文化活動の火を消さずにいただいたという意味で本当にありがたいことだと思います。一方で、人権講座で実施されたケーブルテレビでの講座配信の取組は、高齢により文化活動に参加できないような人にとっても、文化に触れる機会となります。このようなコロナ禍で新たに生まれた良い取組については、新型コロナウイルス感染症が終息しても続けていただきたいと思っています。</p>
議長	<p>先を見通した、子どものための新型コロナウイルス感染症対策という話がありましたが、我々だけの知識で対応することは難しく、健康福祉事務所などの専門機関との連携強化といったような、市としてできることにしっかりと取り組んでいきたいと思っています。人権の観点からもお話いただきましたが、恐れるのは、人ではなくウイルスであるといつも申し上げています。できるだけ音声の放送で、自らの声で訴えるべきだとの思いで取り組んでいる状況です。</p> <p>また、教育というのは最終的には人材育成だと考えておりますので、ここはこれからもしっかりと大事にしていかなければならないと思っています。</p>
教育長	<p>コロナ禍であるからこそ見えてきた重要なこともあるのではと考えています。</p> <p>学校教育においては、群れて、触れて、もっと言うと密にならないといけない環境の中でこそ子供たちが育まれます。その中で新型コロナウイルス感染症が流行し、教師も子どももマスクを着用することで、人の表情から思いを感じ取ることが難しくなったことを経験し、学校やこども園、保育園は、対面であるからこそ教育が充実できていたということを改めて確認できたと言えるのではないかと思います。それと同時に、先ほど人権の観点から話がありましたが、感染した人が悪いと判断をしてしまう人や感染者を心配する人、自分がかからないようにするために今何ができるのかと考える人、自分は関係がないと思う人もいて、価値観が多様化してきていると認識しております。</p> <p>また、第2期教育大綱にも、基本理念として「人間力の育成～豊かな学びが新しい自分と地域を育むまち加東～」を掲げておりますが、学びの中で何が本当に大切なのかということを知ること、そして社会の中でそれを生かしていくことが大事なことだと思っています。人材育成については、いろんな教育場面を持って進めていますが、本当に難しいと改めて感じているとともに、その重要性は変わらないものであらうと思っていますので、ここはさらに力を入れていかないといけなと改めて感じているところです。</p>
議長	<p>(2) 東条学園の現況について それでは、協議事項(2)の内容について事務局から説明をお願いします。</p>
議長	<p style="text-align: center;">事務局から資料2に基づき説明</p> <p>ただいまの説明内容を含め、議事にかかる意見はありますでしょうか。</p>

委員	<p>東条学園は今後新しい校舎へ移りますが、最新の教育施設というのは子どもの知的好奇心を高めると考えています。このイニシアチブを最大限活用して、さらに子供の学習意欲を高めていくことを期待しています。</p> <p>また、1年生から9年生までが一つの学び舎に在籍することを強みとして、教育活動や行事において、保護者や私たちの概念を変えるような取組をしていただきたいです。資料説明の中で3つのステージ制を活かした取組について説明いただき、特に4・7・9年生がリーダーシップを発揮していくと思うのですが、表へ出ていく場を与えれば、子どもにもそのような思いが芽生え、新たに成長する姿が見える可能性があると考えています。加えて、小中一貫教育の大きな狙いの一つである、子どもの変化や成長のタイミングを捉えた指導や不登校やいじめなどの問題へのより効果的な関わりを行うため、1年生から9年生までの子どもたちみんなのことを知っている教師集団をつくっていただきたいです。</p> <p>新しいことばかりで、いろんな部分で頭をひねることも多いと思います。また、先生方も勤務が過重になるのではないかと心配もありますが、新しい可能性を開いていくためにも、やりがいを持って取り組んでいただきたいと思います。</p>
委員	<p>建設中ではありましたが、9月に新校舎の中へ入り、状況を拝見しました。現状は、外部の囲いや工事用の足場などもほぼ撤去されて、校舎、外観の全容が見えるようになっており、工期も最終段階を迎え、仕上げに励んでいただいているように感じております。</p> <p>また、東条学園の体育大会にも、第Ⅰ、第Ⅱ、第Ⅲステージともに行かせていただきました。資料2にも記載がありましたが、第Ⅰステージの体育大会は、4年生がリーダーとして、大変しっかり取り組まれておりました。Ⅱ、Ⅲステージについても、5・6年生が7～9年生と一緒に、一生懸命大会に取り組まれていたというような状況でした。</p> <p>学園祭は伺えずに新聞で状況を知りましたが、4年生が自主性をもって司会進行をされたようです。体育大会と同じように、それぞれのステージにおいて、子どもたちが一生懸命取り組んでくれたのであろうとの思いで、新聞を拝読させていただきました。</p>
委員	<p>私もケーブルテレビで体育祭を拝見し、4年生のすばらしい力を見せていただきました。</p> <p>新校舎の様子も拝見しましたが、そこへ入ることをみんな本当に楽しみにしていることと思います。新校舎へは1月に移るため、9年生の子どもたちにとっては短い間しかそこにいることはできませんが、新校舎へ移るまでの取組や努力などを考えると、この1年間はすごく内容の濃いものでしたので、とてもすばらしい経験ができたと思います。</p>
委員	<p>東条学園がスタートして喜ばしい反面、2つの小学校と1つの中学校が一つになることで、地域が広がることや人数が増えることへの不安、9年の3ステージ制への不安など、様々な不安が保護者の中にはあるのではないかと思います。</p> <p>その不安一つひとつに向き合っていただきながら解決していくことが、次の社地域、滝野地域における小中一貫校の推進及び加東の教育を高めていくことの大きなステップになると思いますので、どういった不安を保護者がお持ちで、どうすればいいのかというようなことを蓄積していただくことが重要であると思います。加えて、教育長が「子供の姿が見える地域であってほしい」とよく言われておりますが、大事な視点であると思いますので、小中一貫校において、どのように子供の姿が見える地域を維持していくのかということも考えながら、様々な行</p>

<p>議長</p>	<p>事等を検証していただくことが大事であると思っています。</p> <p>また、資料2にもあるとおり、授業づくり部会とつながる力づくり部会において、教師の視点で9年間における子どもの学びと育ちの捉え直しを熟議されているというのは非常に良いことだと思います。学びの捉え直しについては、カリキュラムで示されているとおりですが、育ちの捉え直しというのはとても難しく、どのような力をどの段階でつけることができたのかというデータを蓄積していくことで、今後の指導にも随時活かされていくことになると思っています。</p> <p>恐らく、市内の保護者様の中にも、なぜ小中一貫校でなければダメなのかという思いをお持ちの方は、まだまだたくさんいらっしゃるかと思います。その中で、先ほど委員から意見をいただきましたとおり、1年生から9年生までが一つの学び舎に在籍することを強みとして新たな取組を進めていくこと、子どもに活動・活躍の場を提供し、可能性を引き出していくこと、こういったことが重要であると改めて感じました。また、これも委員が言われたとおり、小中一貫校に対して、恐らくいろんな不安をお持ちの方がまだいらっしゃるかと思います。それを何とか解消できるような、案じることでもなかったと言ってもらえるような状況にしていかなければならないと感じております。</p>
<p>教育長</p>	<p>学校として一つの目標を持って、1年生から9年生が連続して高め合っていく、それが小中一貫教育です。この前、学園祭について校長に話を聞きましたが、1年生から4年生までの前期については4年生が中心となって運営を行なった、あそこまでできるのだということが分かった、という話でした。これは、4年生がリーダー性を十分に発揮してくれたということです。小中一貫教育では、その蓄積が今度は7年生、次に9年生に向かっていくということになります。今までは、小学校6年生、その次に中学校3年生が最上級生という位置づけで、計2回リーダー性を発揮する機会がありました。同じ9年間でも小中一貫教育では3回そのような経験ができるということは非常に大きい、とも話していました。これは今、小中一貫教育を目指している一つの理由でもあります。</p> <p>1年生から9年生までの子どもたちみんなのことを知っている教師集団をつくってほしいという話がありましたが、一人ひとりの子供たちの成長・変化を地域の方々へも共有したいと思っています。そうすることで、これから行われる様々な活動が、活動するための活動ではなく、子どもを育てるための活動になると思っています。一方で、教職員にとっては初めての取組ですので、協議や事務に時間を費やしています。そのことに関しては、教育委員会も一緒になって辛抱しながら、新たな仕組みの学校における教育を推進していきたいという思いです。皆様のような御意見を聞きながら進めてまいりたいと考えています。</p> <p>4 その他</p> <p>5 閉会</p>